



沖村 雄二
(地質学)

東広島市には、前垣氏庭園(寿延庭、非公開)があります(名勝地関係部門、国の登録記念物、平成28年3月に文科省が告示)。日本庭園の巨匠として知られる、故重森三玲氏による枯山水の

日本の庭園文化



東広島市高屋町高屋堀の仙石庭園の枯山水

日本庭園は世界に誇れる文化

名園です(昭和30年に造園)。枯山水と呼ばれる庭園は、日本庭園文化(象徴的縮

景式庭園)の粋に値し、世界に誇れる独自の造園技術です。

日本の庭園文化が、世界に誇れる文化の一つである証拠を探ってみますと、現在、世界中につくられている日本庭園は482カ所を超し(内71は大使館)、国内でも政府が指定している名勝としての庭園の数が186カ所(内21カ所は特別名勝)あります。

写実的風景式庭園と呼ばれる、日本庭園の様式に近い西洋式庭園や、左右対象的

幾何学的模様で知られるインド・イスラム庭園など、その数に關していろいろ調べてみました。桁が違います。

庭園文化を、人の生活様式の全てと自然との融和として考えてみますと、日本庭園の発祥は飛鳥時代(6世紀末)といわれ、奈良時代―平安時代(8世紀)には仏教の伝来の影響が大きく、浄土式庭園で代表される日本庭園の様式が生まれています。

12世紀末、貴族・武士階級の台頭によって、寝殿造

り、書院造りが盛んになり、そして鎌倉・室町時代(13〜14世紀)に枯山水庭園が生まれています。次いで、安土・桃山時代―江戸時代には「大名庭園」、茶道に關連して露地庭園が生まれ、現在、最も広く楽し込まれている(回遊式)池泉庭園へと進化した日本庭園の文化史に注目してみませんか。

 広島大学マスターズは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っています。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)



過去の記事